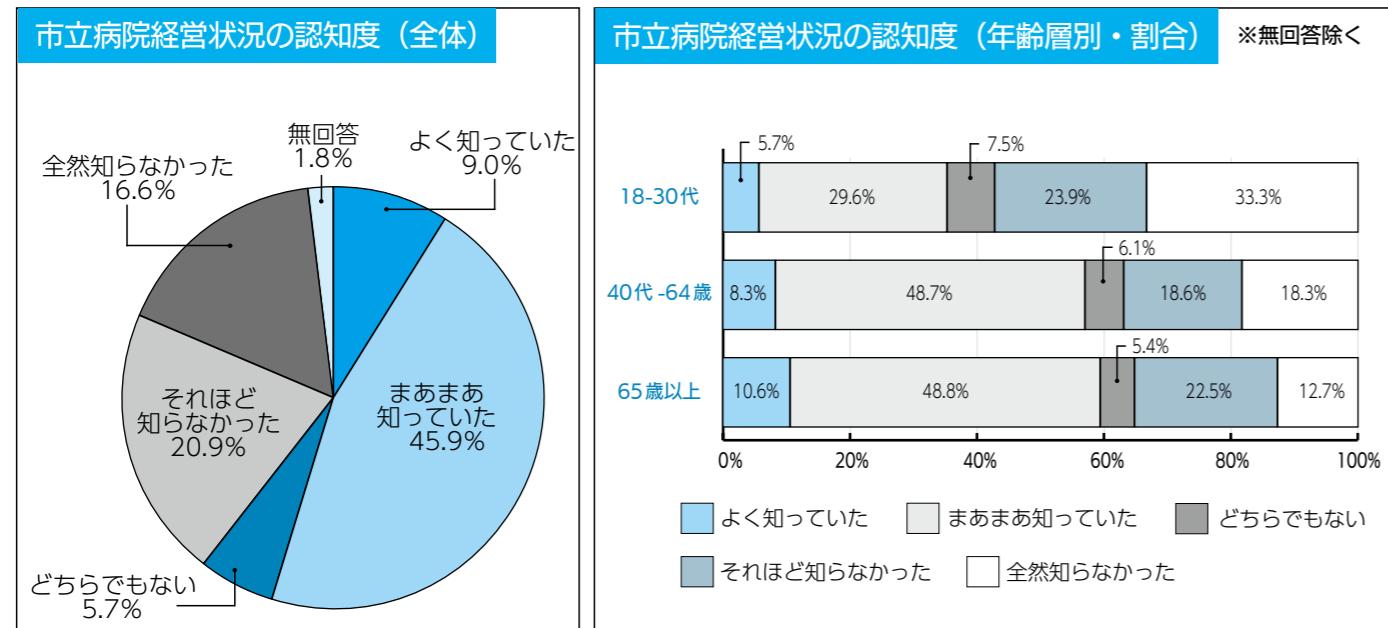


令和7年度 市立病院に関する市民アンケート結果

市立病院経営状況の認知度について

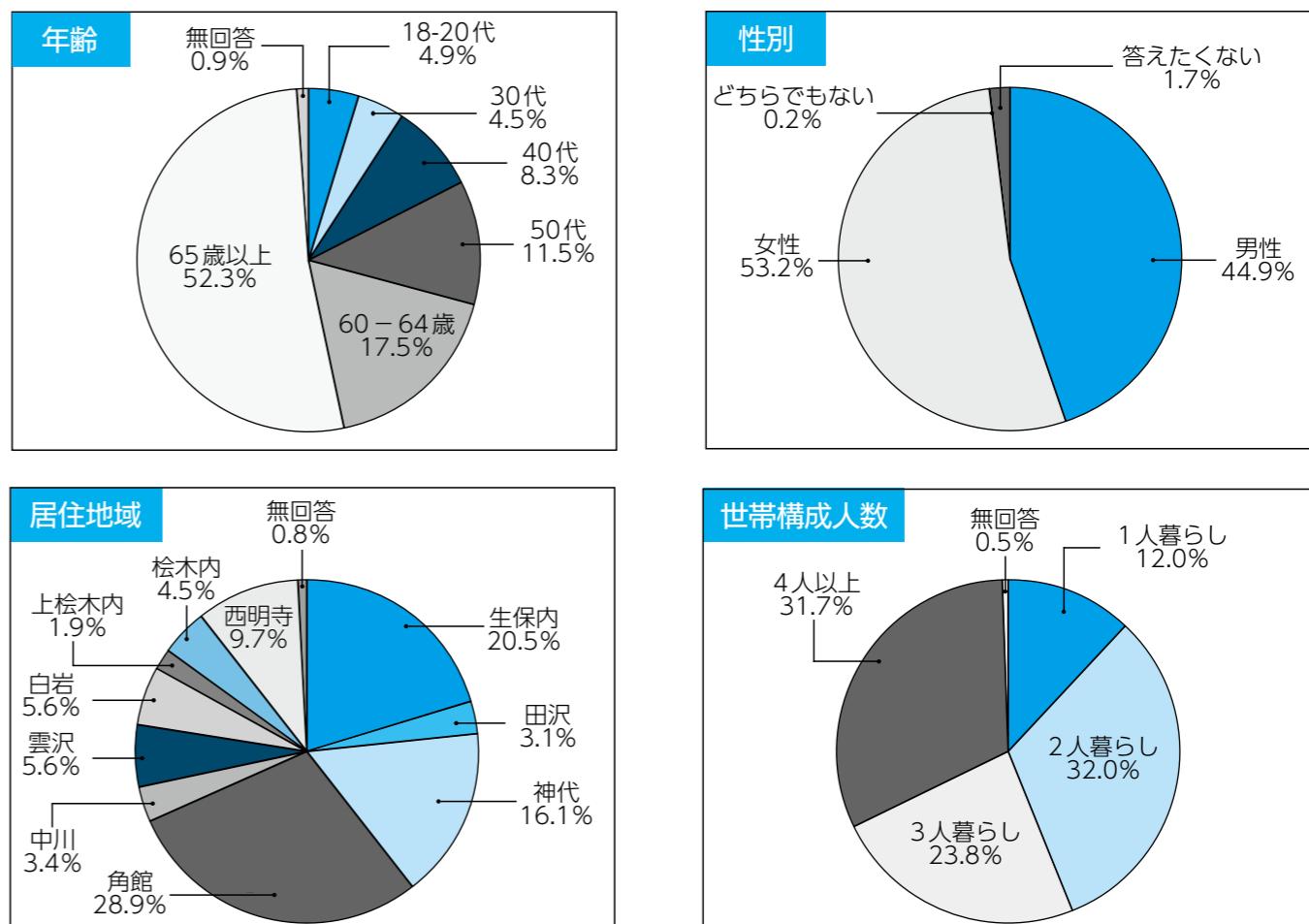
回答者の過半数以上が「よく知っていた」または「まあまあ知っていた」と回答しました。他方、年齢層別では、若い世代ほど市立病院の経営状況に関する認知度が低く、高齢者層ほど認知度が高くなる傾向となることがわかりました。



調査目的と実施概要

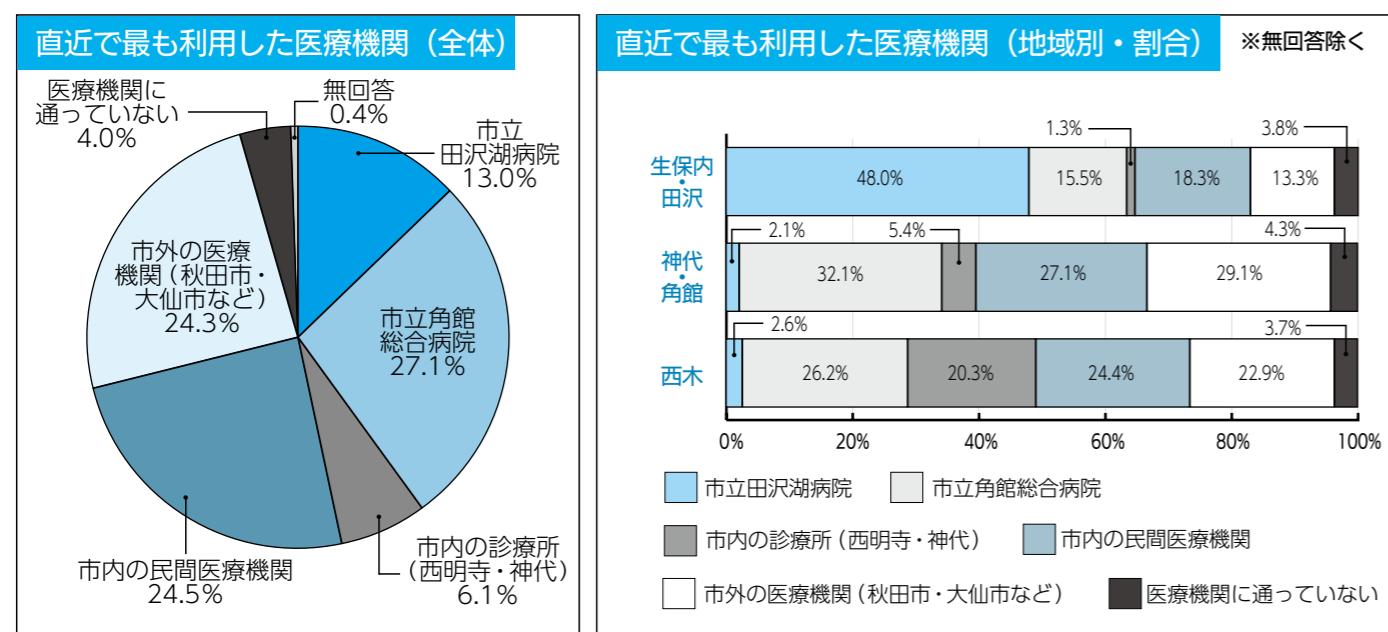
(1) 調査の目的		病院事業会計における経営状況の悪化とそれに伴い必要となる経営健全化計画の策定に向けて、市民の医療機関利用の実態や今後の市立病院の方向性に関する意識などを明らかにし、その結果を計画策定や改善策立案などの重要な基礎的・客観的データとして活用していきます。
(2) 主な調査の内容		・病院経営状況に関する情報の認知度 ・直近で最も利用した医療機関および利用実態 ・今後の市立病院の利用に関する意向 ・市立病院の方向性に関する意識 など
(3) 調査の概要	1. 対象者	令和7年10月14日現在で18歳以上の市民3,000人を無作為抽出。
	2. 調査方法	アンケート調査用紙を郵送またはインターネットにより配布・回収。
	3. 調査期間	令和7年10月27日(月)～令和7年11月10日(月)
(4) 回収結果		有効回答数: 1,693人 (有効回答率: 56.4%)

回答者について



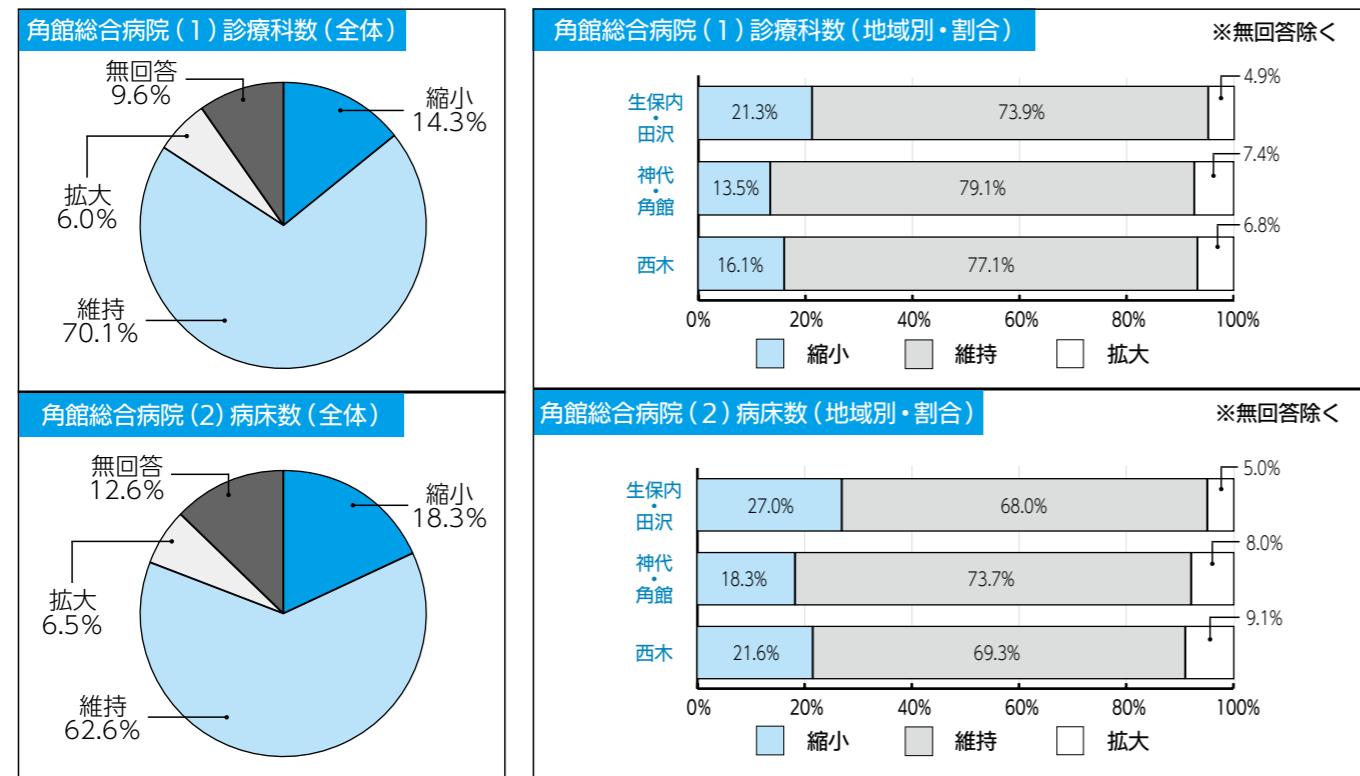
直近で最も利用した医療機関について

全体として市立角館総合病院を利用した方が最も多かったものの、市内の民間医療機関や市外の医療機関を利用した方の割合も同程度となりました。市立田沢湖病院については利用者の割合としては上位3項目の半数程度にとどまっていますが、利用者の内訳として生保内・田沢地域の居住者が大半を占めています。



角館総合病院の方向性について

(1) 診療科数および(2)病床数のいずれにおいても、全体として「維持」が最も多い回答となりました。生保内・田沢地域で「縮小」の回答率が相対的にやや高い傾向がありますが、各地域ともおおむね「維持」の回答となっています。

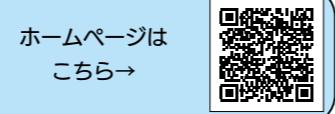


市立病院及び市内医療体制への自由意見について

分類	件数	割合
①スタッフ対応の問題(医師・看護師、その他スタッフの接遇など)	132件	18.7%
②医療体制の維持・拡大(現状維持、医師の増員及び診療科の拡充など)	237件	33.5%
③医療体制の縮小(病床の削減、市立病院の集約化など)	131件	18.5%
④子育て関連(小児医療の充実など)	14件	2.0%
⑤診療日程関連(夜間・休日診療の実施など)	17件	2.4%
⑥待ち時間の長さについて(診察等に係る待機時間の改善など)	43件	6.1%
⑦交通手段の充実について(バス等公共交通の拡充など)	14件	2.0%
⑧業務の改善・効率化(業務体制の見直し、DX含む新規取組の実施など)	39件	5.5%
⑨その他	80件	11.3%
総数	707件	100.0%

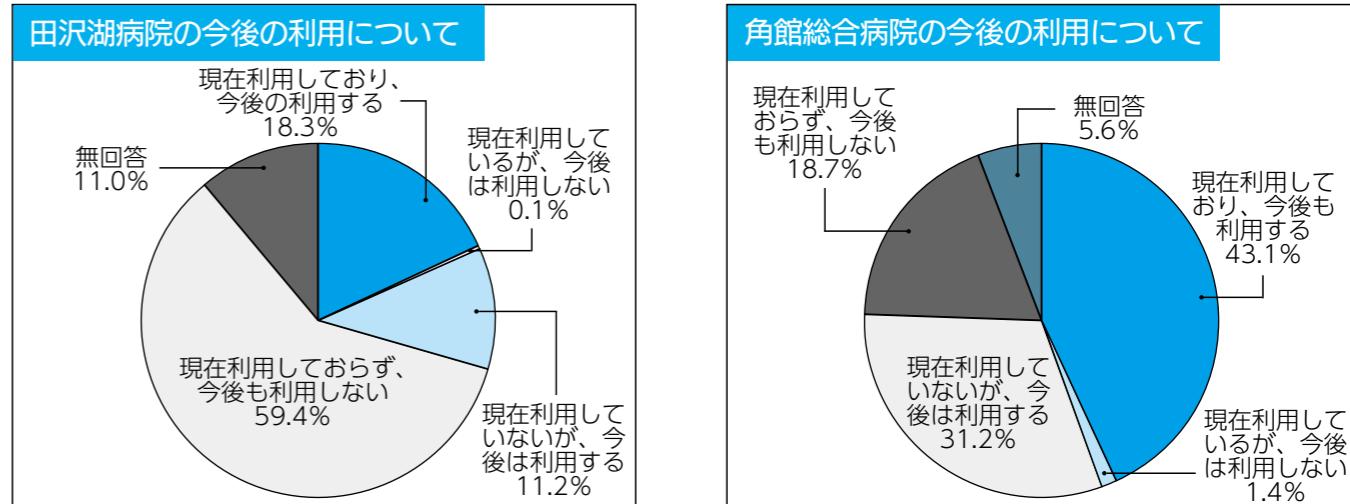
※「詳細版」については、仙北市公式ウェブサイトに掲載しています。
(トップページ>行政情報>各機関からのお知らせ>医療局 医療管理課>
「市立病院に関する市民アンケート結果について」)

●問合せ／仙北市医療局 医療管理課 TEL：0187-54-2116



今後の市立病院の利用に関する意向について

市立田沢湖病院については、全体の約6割が「現在利用しておらず、今後も利用しない」と回答された一方、市立角館総合病院については、約7割が「現在利用していて、今後も利用する」または「現在利用していないが、今後は利用する」と回答されました。



田沢湖病院の方向性について

全体として(1)診療科数については「維持」が「縮小」を上回った一方、(2)病床数については「縮小」が「維持」をやや上回る結果となりました。
ただし、地域によって回答の傾向に差異があることが示されています。

